

令和 2 年 2 月 12 日

医療機関の長 殿

茨城県医師会会長 諸岡 信裕

「新型コロナウイルス関連感染症：第 5 報」

新型コロナウイルスに関連した感染症に関して、日本医師会横倉義武会長は、会内に、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、横倉会長が本部長となり、危機管理の観点から迅速かつ適切な対策を講じる体制を整備しました。そして、国民の健康を脅かす感染症が発生した際には、いち早く現場の意見を取り上げ、現場に即した対応となるよう国と協議し、正確かつ速やかな情報提供を行っていくとしました。

日医としては、医療機関の中で感染症を拡大させないという観点から、日本語と中国語で該当する方に、事前に保健所への電話連絡をお願いするための掲示物を作成し、文書やホームページへの掲載により、周知を図っていることを紹介し、適正な医療対応のための理解を求めました。

医療機関へのマスク、手指消毒のための備品などが不足している現状を危惧し、可及的速やかな増産等を厚生労働省に対して強く申し入れを行いました。

また、医療体制に関しては、「帰国者・接触者相談センター」を各保健所に設置し、受診が必要と判断された場合は、感染症指定医療機関の「帰国者・接触者外来」が対応するが、今後の疑い例の増加に対応するためには、これ以外の医療機関の整備が必要であり、地域の実情に応じた体制の構築に向けて、取り組んでいくとしました。

日本医師会では、新聞等に、意見広告やポスターを作成しました。「新型コロナウイルス感染症の感染が疑われたら、まず、お近くの保健所等の相談窓口にお電話を。」詳しくは、日本医師会のサイトを参照ください。

**新型コロナウイルス感染症の感染が疑われたら、
まず、お近くの保健所等の相談窓口にお電話を。**

感染を広げないためにも、ご協力をお願いいたします。

**感染予防にも
努めましょう**

- 帰宅時には手洗い(指の間、手首まで)、うがいを徹底しましょう。※アルコール消毒剤も有効です。
- 十分な栄養、休養を取りましょう。
- 新型コロナウイルス感染症に関する情報は、厚生労働省など公的機関から出される情報をチェックしましょう。



日本医師会公式キャラクター「日医猫」

今後も国と協力して感染拡大の防止に努めて参ります。



日本医師会
Japan Medical Association

<http://www.med.or.jp>

〔速報〕

本日、WHO は、コロナウイルス関連感染症について、「COVID-19」(Corona virus Induced Disease-2019)と命名しました。